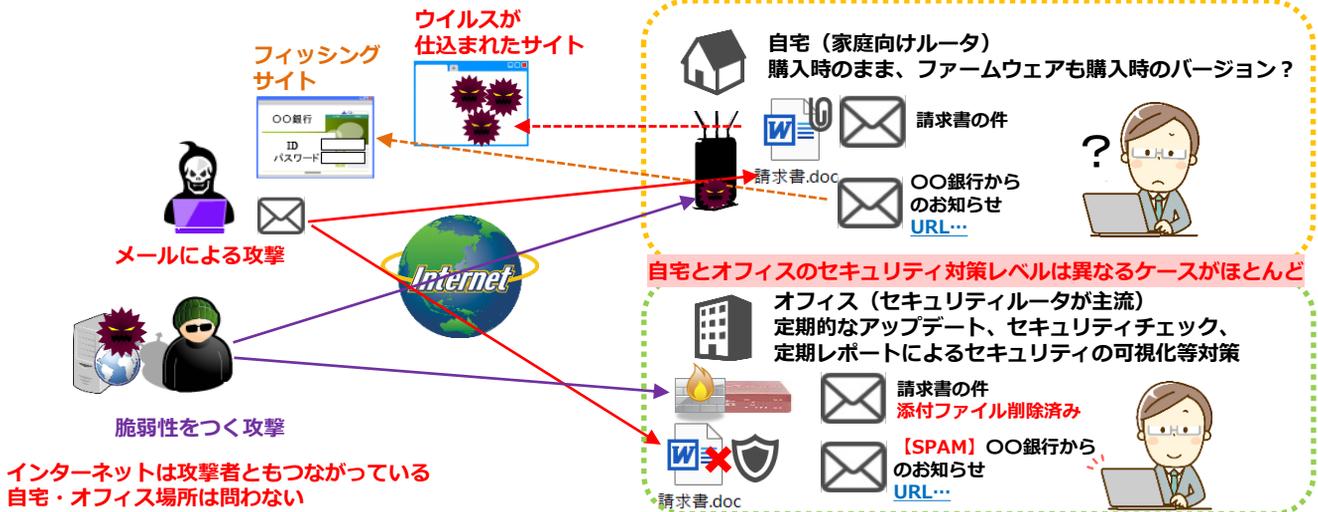




インターネット上の脅威は、自宅、オフィス問わず・・・対策の確認を (2021年8月12日)



■ 攻撃のパターン1 メール経由の脅威

・ Word・Excel・PDF・zip形式やURLリンクから、ファイルを開くと、ウイルスをダウンロード、実行させる (ウイルス自体を添付し送信すると、ウイルス対策ソフトにひっかかるため)

ウイルス侵入後の被害は、**情報搾取・ファイル暗号化・他組織への攻撃など、攻撃者の目的により異なる**

・ 銀行・カード会社、ネットショップ・宅配業者、クラウドサービス業者など装うメール (フィッシングメール) は、本物そっくりのサイトに誘導し、入力させた個人情報やメール情報を搾取悪用 **被害にあうまで気づかないことが多い**

対策

メールの添付ファイル・メール本文のリンクはすぐ開かず、確認する。最新の攻撃メールの情報を知る  
検知率の高いウイルス対策ソフトの導入 (ウイルスチェックだけでなく、フィッシングサイトへのブロックの機能もあり)

■ 攻撃のパターン2 利用機器やOS、ソフトの脆弱性

パソコンのOS、ルータ・WiFi・NASなどネットワーク機器のファームウェア、OfficeやPDF等パソコンにインストールされたソフトには、**ソフトウェア上の欠陥が存在します (脆弱性)**

攻撃者は、この欠陥 (脆弱性) を悪用、ネットワークへ侵入、ウイルス拡散、不正サイトへ誘導等、攻撃の足掛かりに

対策

修正パッチや新しいバージョンを適用する (手動で更新が必要のものは、最新版の有無を確認)  
古い機器、ソフトなど、新たな脆弱性に対応した修正パッチが提供されないこともあり、定期的な見直しが必要  
利用するハード・ソフトの数、利用人数が増えれば、管理も複雑になるため、不要なソフトや機器は使わない

■ 情報源

迷惑メール相談センター <https://www.dekyo.or.jp/soudan/>

テレワークセキュリティガイドライン [https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/cybersecurity/telework/](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/telework/)